



【第44期初級陸曹特技課程「准看護師」患者後送訓練】

令和2年6月25日

自衛隊札幌病院 准看護学院（学院長：高橋1佐）は、6月25日（木）丘珠駐屯地において、初級陸曹特技課程「准看護師」第44期生24名に対し、北部方面航空隊の支援を受け、多用途ヘリコプター（UH-1J）による患者後送訓練を実施した。

航空隊から安全教育を受けた後、担架員4名、患者1名の5名をもって訓練班を編成し、患者の搭載・卸下訓練では、2種類の搭載要領と患者吊り下げ装置（ホイスト）を使用した患者搭載要領を演練、約15分間の飛行間、機内救護においては、バイタルサイン測定等の患者観察コミュニケーション及び、与薬（点滴）要領を演練した。

学生は、担架員4名が呼吸を合わせた搬送により、安全確実な搭載・卸下を実施するとともに、飛行間の機内救護では、振動や騒音が大きい機内において、コミュニケーションの難しさを体験しながら、バイタルサイン測定等を実施して、衛生知識・技能の向上を図るとともに、患者後送における安全管理の重要性を学んだ。



北部方面航空隊による安全教育



患者の搭載



飛行中の患者観察



患者の卸下



ホイスト装置による患者の搭載



ローターブレード固定下の患者搭載